

私たちは、天の御国が完成してイエス様が再び来られることを信じて「御国が来ますように。」とやがて来る御国を覚えて祈ります。また世界において戦争や悲惨な社会を嘆きつつ、そこに神様の意思が、みこころが正しく行われるようにと祈ります。でもそれだけでなく、この祈りは私たち自身がこの地上で、日々の生活の中で、神様のみこころを行うことができるようにしてくださいという身近な祈りでもあります。

私たちの目指すところは、みこころが 100%天で行われているように、私たちが思いや行動、生き方を持って主のみこころをいつも 100%行うことです。日曜日だけ信仰を持って生きるのではなくて、オン・オフとスイッチを切り替えるのではなくて、常にスイッチオンで生きる。日曜以外の日もいつも信仰者として生きられるそのような生活ができるように生きることです。

私たちが日常でいるところ。それは御国とこの地の境界線です。私たちクリスチャンは御国の最前線に遣わされています。神様によってすでに開拓された私たちが目の前に広がる未開拓地を開拓していく。イエス様を信じる喜びを言葉で伝え、また態度で示す。私たちが社会で活躍することによって「ここに御国があるんだ。真理があるんだ。」と、旗印を掲げることになります。これが地の塩、世の光としてイエス様を指し示していく生き方です。今、私たちは、それぞれの場所に遣わされています。神様の派遣には、目的、意図があります。そこに、私たちがなすべき神様のみこころがあります。そのことを覚えて、御国を開拓する使命を果たしていきたいと願います。

この地上で、この日本でクリスチャンとして生きていくことは簡単なことではありません。私たちが神様のことを考えないようにさせる誘惑がたくさんあります。今のままでいいやっ、と妥協させようとすることもあります。だからこそなおのこと私たちは、「御国が来ますように。みこころが天で行われるように、地でも行われますように。」と、この主の祈りを祈りながら、戦っていきたいと思います。私たちの言葉が、態度が、生き方が、主のみこころを行うことができるように、私たちの内において神様の支配が、御国が広がっていくように祈っていきたい。また、この地上に神様の御国がますます広がるために、みこころが行われるために私を用いてくださいと祈っていきたいと願います。

これから新成人のみなさんはどんどん様々な場所で活躍していくと思います。でもどんなところであっても御国を広げるために、みこころをこの地でなすために、毎日を信仰者として生きていってください。そして御国を開拓する者としてますます成長することを祈っています。